

令和元年度

標準学力検査・総合質問紙調査結果

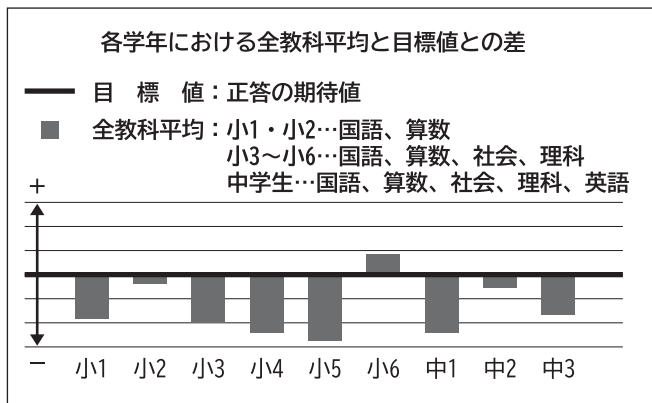
本町で毎年実施している「標準学力検査」および「総合質問紙調査」の結果をお知らせします。

なお、本調査は、町内小学校1年生から中学校3年生までの全児童生徒を対象に実施したものです。標準学力検査・総合質問紙調査結果に関する問い合わせは、教育委員会指導室まで ☎2-217171（内線266）まで。

1 標準学力検査結果

小学生6年生のみ、全教科の平均が目標値を越えました（図1）
 小学校全体の傾向としては、前の学年で学習した漢字や簡単な割り算の計算など、基礎的・基本的な内容の定着に課題がみられます。
 中学校は、教科や単元によって、正答率に大きな差があるとともに、身に付けた知識の活用を図る問題に苦戦している生徒が多く見受けられました。また、全体的に本町の児童生徒は、自分の考えを書いたり根拠に基づいて説明したりする力に課題が見られます。

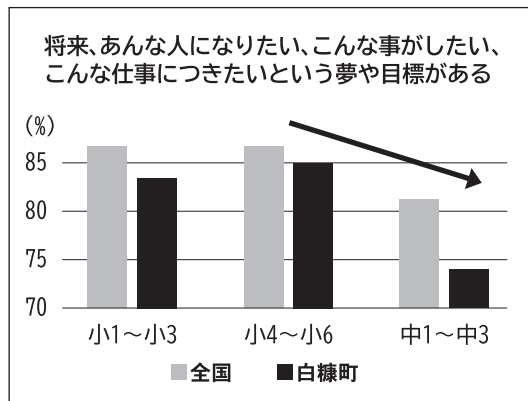
(図1)



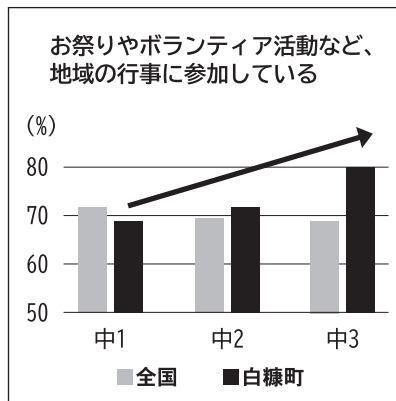
2 総合質問紙調査結果

中学校では、社会参画意識について全国平均を上回りました。家庭と学校と地域が一体となった取り組みの成果であると考えられます（図2）
 一方で、学年が上がるにつれて、夢や目標があると回答する児童生徒の数が減少しています（図3）

(図3)

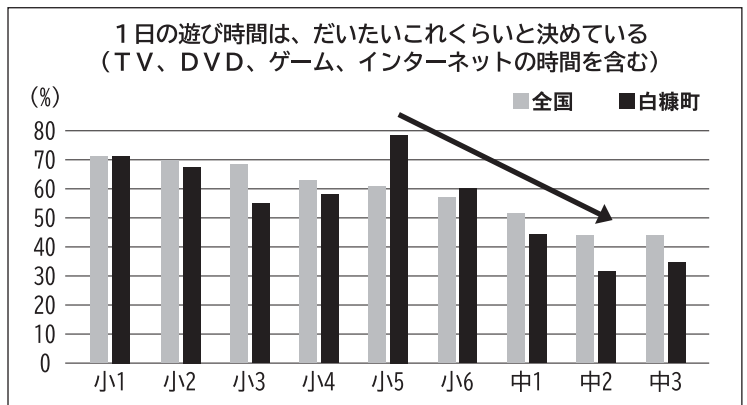


(図2)



生活・学習習慣においては、家庭での学習時間やテレビやゲームなどの遊び時間について学年が上がるにつれて時間がルーズであり、規則的な生活・学習習慣の定着に課題が見られます（図4）

(図4)



今後の対応について

- 学習では、わかる（できる）まで繰り返し書いて取り組み、苦手部分を克服しましょう。
- 1日の生活を見直し、毎日決まった時間に家庭学習に取り組みましょう。
- テレビや情報端末機器等を使用する時間は家庭でルールを決めて守りましょう。
 （情報端末機器に関する白糠町のルールを徹底して守りましょう）
- 家庭での会話の時間を多くもちましょう。